

平成 23 年度入学者選抜学力検査問題

# 社 会

(配 点)

1	12 点
2	16 点
3	8 点
4	8 点
5	12 点
6	16 点
7	12 点
8	16 点

(注 意)

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題用紙は 1 ページから 14 ページまでである。  
検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 答えは、すべて解答用紙に記入すること。
- 4 解答用紙の総得点欄および得点欄には記入しないこと。

1 (問1)から(問3)までの各問いに答えよ。

(問1) 次ページの図1から図3までは、2010 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会に参加した32か国(地域)のうち、日本と開催国の南アフリカ共和国、そして1次リーグ(予選リーグ)で日本と対戦した3か国の位置を示したものである。図1中のXの緯線と同じ緯度の緯線は、図2中の①から③までのどれか。また、図1中のYの経線と同じ経度の経線は、図3中の④から⑥までのどれか。それぞれを正しく選んで組み合わせたものを次のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア ①と④                      イ ①と⑤                      ウ ②と⑤  
 エ ②と⑥                      オ ③と④                      カ ③と⑥

(問2) 次の表は、花子さんが2010 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会に参加した国を三つの特徴ごとに書き出したものである。表中のアからエまでの中から正しい組み合わせを一つ選び、その記号を書け。

表

	日本より人口の多い国	日本より面積の大きい国	国土のすべてが北半球にある国
ア	ブラジル	オーストラリア	メキシコ
イ	ドイツ	フランス	ギリシャ
ウ	ナイジェリア	アルゼンチン	ニュージーランド
エ	アメリカ合衆国	イタリア	スペイン

(問3) A県から引っ越してきた太郎君が、花子さんのクラスに転校してきた。太郎君は、自分がどこの県から引っ越してきたのかについて、クラスの人にクイズを出した。次の①から⑤までは、太郎君からのヒントである。A県の県名を漢字で書け。

- ① A県は、中国地方、四国地方、九州地方のいずれかに含まれています。  
 ② A県の県庁所在地の都市名は、県名と同じです。  
 ③ A県の県名に使われている漢字のいずれもが、全国のほかのどこかの県名にも使われています。  
 ④ A県の県名に使われている漢字と同じ漢字を県名に使っている県のすべてで、県庁所在地の都市名と県名が同じです。  
 ⑤ A県の県名に使われている漢字と同じ漢字を県名に使っている県のすべてが、海に面しています。

図1

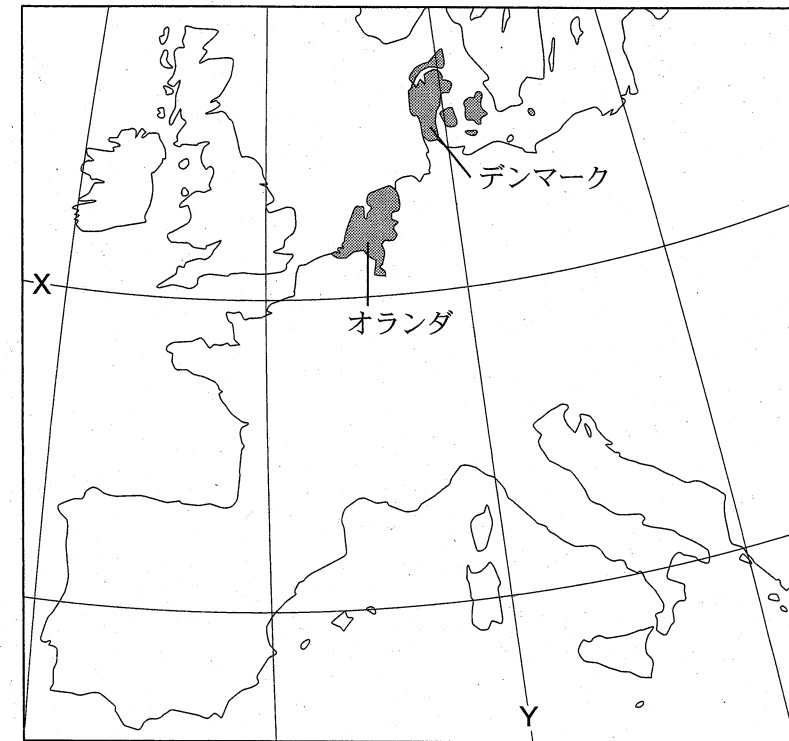


図2

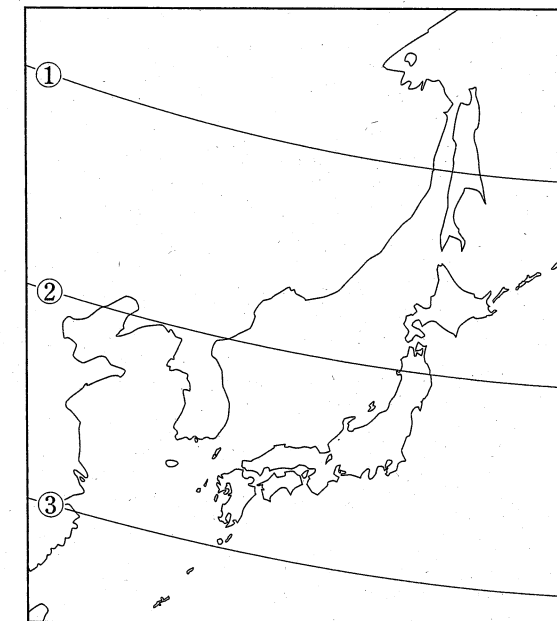
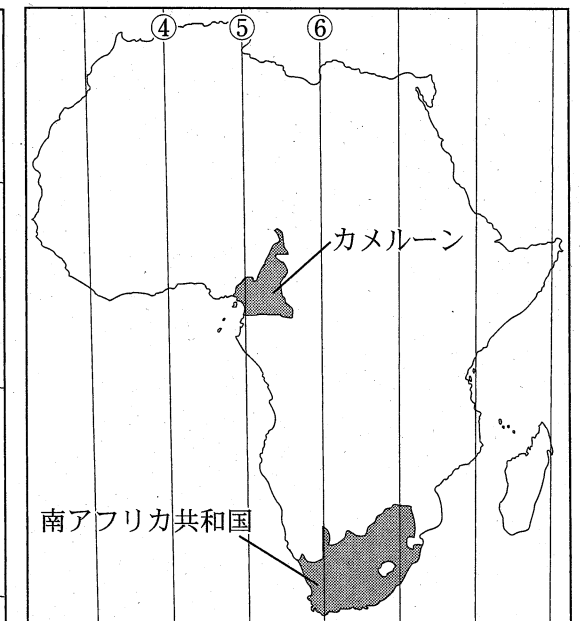


図3



※図1から図3までの地図の図法および縮尺は、同じとは限らない。

※図1から図3までの地図中の緯線および経線は、すべて10度間隔で描かれている。

2 次ページのアメリカ合衆国（アラスカ州とハワイ州を除く）に関する図と表を見て、(問1)から(問4)までの各問いに答えよ。

(問1) 図1は、西経100度の経線と北緯37度の緯線によってアメリカ合衆国を大まかに地域区分したものである。図2は、年降水量と1月の平均気温を示している。図1の①から④までの地域の特徴を述べたもののうち内容が正しいものを、図2も参考にして、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア ①は、③よりも標高の高い地域が多く、年降水量の多い地域がほとんどである。①の太平洋岸には、冬の寒さが内陸部よりも厳しい地域が見られる。
- イ ②は、④よりも標高の低い地域が多く、年降水量の少ない地域がほとんどである。②の内陸部の年降水量がやや多い地域を除けば、ほとんどが冬でも温暖な地域である。
- ウ ③は、①よりも標高の高い地域が多く、年降水量の多い地域がほとんどである。③の大西洋岸には、冬の寒さが内陸部よりも厳しい地域が見られる。
- エ ④は、②よりも標高の低い地域が多く、年降水量の多い地域がほとんどである。④のメキシコ湾岸などには、冬でも温暖な地域が見られる。

(問2) 図3のIからIVまでは、特色のある農業地域を示したものである。次のあといの説明に当てはまる地域を図3のIからIVまでの中から正しく選んで組み合わせたものを、下のアからオまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- あ 気候が冷涼であることや、大都市に近いことなどの条件を生かして、乳牛を飼育して生乳や乳製品などを生産する酪農が発達している地域である。
- い 成育期に温暖湿潤を好む綿花の栽培が多い地域で、アフリカ系の人々が多いこともこの地域の特徴である。

- ア あ—I い—II      イ あ—I い—III      ウ あ—I い—IV
- エ あ—II い—III      オ あ—II い—IV      カ あ—III い—IV

(問3) 表は、アメリカ合衆国の各州のうち、人口が上位5位までの州の主要統計を示したものである。州別の工業製品出荷額の順位を示した図4のaからeまでは、表中のアからオまでの州のいずれかを示している。表の下のAとBの文と図4を参考にして、国際連合の本部があり、世界経済の中心地でもある都市が位置している州を示したものを、表中のアからオまでの中から一つ選び、その記号を書け。

(問4) 図4のa州の1人当たり工業製品出荷額に最も近いものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア 1300ドル      イ 2200ドル      ウ 13000ドル      エ 22000ドル

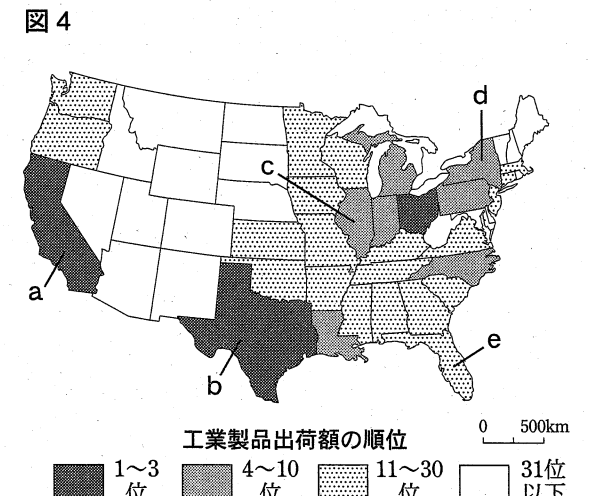
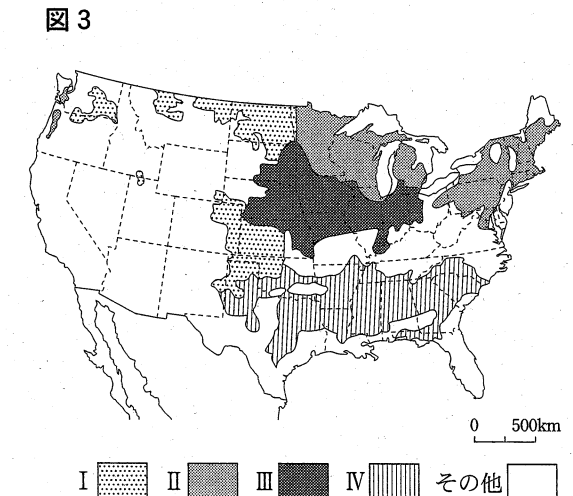
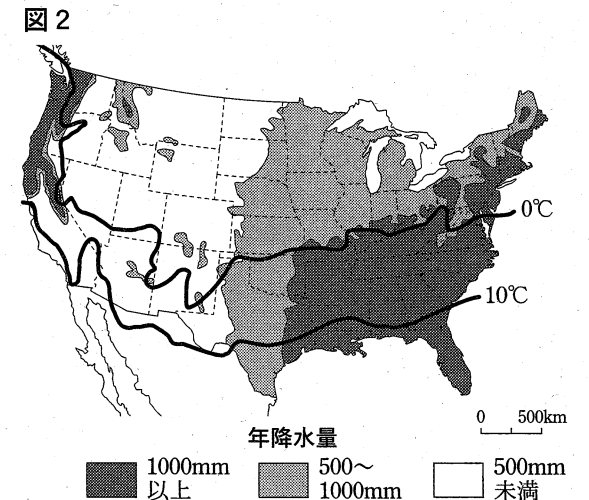
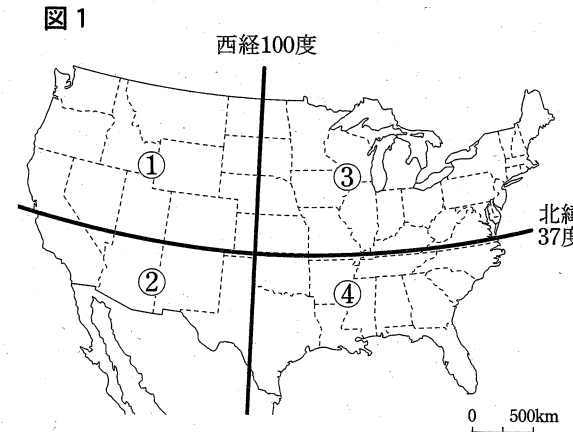


表 アメリカ合衆国の五つの州の主要統計

	ア	イ	ウ	エ	オ
面積(万 km <sup>2</sup> ) (2000年)	15.0	42.4	69.6	14.1	17.0
人口密度(人/km <sup>2</sup> ) (2006年)	86	86	34	137	106
農業生産額 (億ドル)(2007年)	118	357	188	44	76
工業製品出荷額 (億ドル)(2006年)	2425	4666	5276	1624	978

(『世界国勢図会 2009/10』などより作成)

- A 五つの州のうち農業生産額が最も多い州は、太平洋に面しており、ヒスパニックやアジア系の人々も多く暮らしている。
- B 農業生産額が100億ドルを超えているある州には、イリノイ川を經由して五大湖とミシシッピ川を結ぶ交通の重要な拠点になっている都市がある。

3 表と図を見て、(問1)、(問2)に答えよ。

(問1) 表中のアからエまでは、それぞれアジア、アフリカ、ヨーロッパ(ロシア全体を含む)、北アメリカ(メキシコなど中央アメリカを含む)のいずれかを示している。表の下のAとBの文も参考にして、北アメリカを示すものとして正しいものを、表中のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

表 地域ごとの森林面積、木材伐採高および木材伐採高に占める針葉樹の割合(2007年)

地域	森林面積 (千ha)	木材伐採高 (千m <sup>3</sup> )	木材伐採高に占める 針葉樹の割合(%)
ア	705113	735907	64.3
イ	1002715	728885	68.4
ウ	573583	1026646	18.6
エ	627336	672063	3.6

(『世界国勢図会 2009/10』より作成)

- A 針葉樹は、温帯から冷帯までを中心に分布している。  
 B ロシアの森林面積は、北アメリカ全体の森林面積を上回っている。

(問2) 太郎君は、日本の林業について、下の図などを参考にして次のようなまとめの文章を作成したが、下線部aからeまでの中には誤っている部分がある。誤っているものをすべて選んだものを、下のアからオまでの中から一つ選び、その記号を書け。

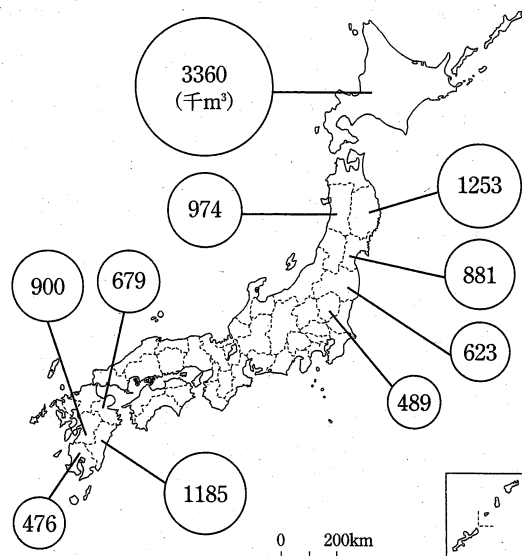
日本の森林面積は国土の約3分の1であり、a東北地方では青森ひば、秋田すぎなどが、b中部地方では吉野すぎ、c近畿地方では木曾ひのきなどが建築材などとして生産されている。

国産の木材(素材)は、d北海道、東北地方、九州地方で全国の半分以上が生産されている。しかし、国産の木材よりも海外の木材の方が安いために、日本はe世界有数の木材輸入国になっている。

- ア aとbとe      イ aとc  
 ウ bとdとe      エ bとe  
 オ aとcとd      カ cとd

図 木材(素材)生産量の上位10道県(2008年)

※全国の木材(素材)生産量は17709千m<sup>3</sup>



(『データでみる県勢2010』より作成)

4 次の文章を読み、(問1)、(問2)に答えよ。

太郎君は、夏休みの宿題で、日本に影響を与えた外国の文物や文化をまとめようとして、思いつくままに次の①から⑤までを書き出してみました。

- 朝鮮侵略のときに捕らえられ日本に連れてこられた陶工により、陶磁器の製法が各地に伝えられた。
- 日宋貿易により輸入された銅銭が貨幣として使われ商業が活発となり、月3回の定期市が開かれるようになった。
- フランシスコ=ザビエルが来日し、かごしま・山口・京都・豊後府内などでキリスト教を布教した。
- 中国から伝来した美術工芸品の中にはインドやギリシャなどの影響を受けているものもあり、その一部は東大寺に建てられた正倉院に納められた。
- すぎたげんぱくにより西洋の解剖書の翻訳書が出版されたことをきっかけに、オランダ語で西洋の文化を学ぶ学問が盛んとなった。

(問1) 文章中の①から⑤までを時代の古い順に並べ替えたとき、次の史料はどこに位置づけられるか、正しいものを下のアからオまでの中から一つ選び、その記号を書け。

【日本から中国への国書】日本国の准三后<sup>(\*)</sup>である私が、国書を中国の皇帝陛下に差し上げます。日本は国が始まって以後、あいさつの使いを中国に送らないことはございませんでした。私は幸いにも国政をつかさどり、国内の平和を保っております。特に昔からの方式に従って、肥富(副使で博多の商人)を租阿(正使で禅僧)に同行させ、日本のみやげ物を献上させます。恐れ謹み、敬意を表して申し上げます。

【中国から日本への返書】私が皇帝の位を継いでから、使節を遣わす周囲の国々の君主がとても多い。大義に従っていれば、みな礼をもって受け入れて慈しもう。そなた日本国王源道義が中国の帝室に思いをよせ、皇帝を愛する誠の心を持ち、荒波の海を越えて使節を遣わしたことを、私はほめ称えよう。使者として道彝と一如を派遣し、大統曆(当時の中国の曆)を与え、属国として認め、錦と綾絹二十匹を与える。到着したら受け取れ。

(いずれも『善隣国宝記』の一部を口語訳したもの)

※<sup>たい</sup>太皇太后・<sup>たい</sup>皇太后・<sup>きん</sup>皇后に準じた称号で、この称号を与えられると皇族と同等の待遇となる。

- ア ①の後、③の前      イ ①の後、⑤の前      ウ ②の後、③の前  
 エ ③の後、⑤の前      オ ④の後、②の前

(問2) 文章中の下線部に関して、この翻訳書の書名を漢字4字で書け。

5 次の文章を読み、(問1)から(問3)までの各問いに答えよ。

- ① 平 清盛が権力を握り、一族の多くが朝廷の高位高官になった。だが、平氏の政治は貴族や地方武士の反感を買い、源 頼朝らの挙兵により滅亡した。
- ② 足利義政は、自分の跡継ぎをめぐる問題や守護大名間の勢力争いを収められず、応仁の乱を招いた。しかし、文化の面では一定の功績があった。
- ③ 中国の影響を受けて、律令政治の仕組みが整えられた。また、本格的な都として平城京がつくられた。
- ④ 藤原氏が、摂政や関白として天皇に代わって政治の実権を握る摂関政治を行った。一族は朝廷の高位高官になり、多くの荘園をもった。
- ⑤ 大和地方では、豪族たちが前方後円墳などの大きな墓をつくった。彼らが大王を中心にした政権は、各地に勢力を伸ばした。
- ⑥ 徳川家康は、関ヶ原の戦いで石田三成らに勝利し、江戸に幕府を開いた。さらに、豊臣氏を滅ぼして全国支配を確かなものにした。

(問1) 次の a から c までは、文章中の①と②の間の時期に起きた出来事について述べたものである。a から c までを時代の古い順に並べ替えたとき、正しいものを下の A から C までのの中から一つ選び、その記号を書け。

- a 北条時宗が武士を動員し、二度にわたって攻めてきた元の軍勢を撃退させた。
- b 後鳥羽上皇は、朝廷の勢力を回復させるために挙兵したが、幕府の軍勢に敗れた。
- c 後醍醐天皇による公家重視の政策は、武士の不満を招いて失敗した。

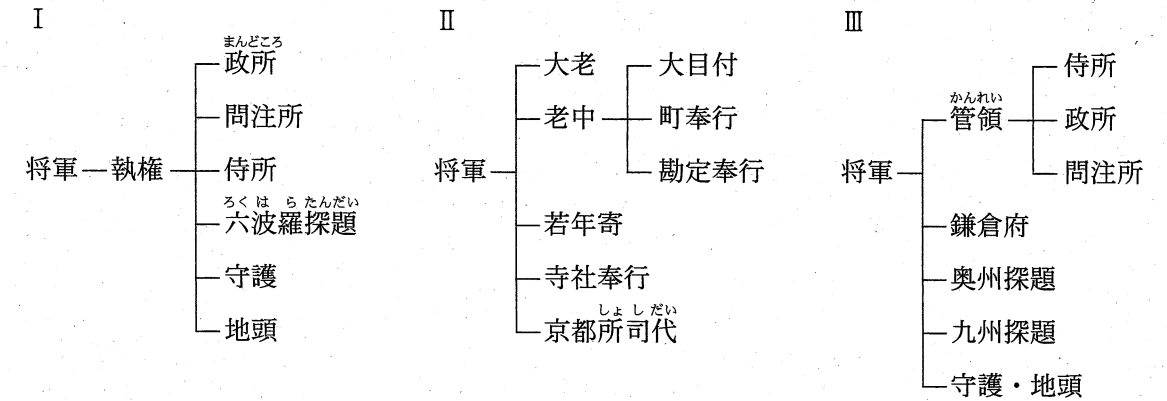
- A a→b→c      I a→c→b      U b→a→c  
 E b→c→a      O c→a→b      K c→b→a

(問2) 次の a と b は、文章中の③、④、⑤のいずれかのころの文化について述べたものである。正しい組み合わせを、下の A から C までのの中から一つ選び、その記号を書け。

- a 国風文化が栄え、清少納言は『枕草子』を、紫式部は『源氏物語』を書いた。
- b 日本の神話や歴史が、『古事記』や『日本書紀』にまとめられた。

- A a-③ b-④      I a-④ b-③      U a-③ b-⑤  
 E a-⑤ b-③      O a-④ b-⑤      K a-⑤ b-④

(問3) 文章中の⑥の幕府について、その組織図を示したものが次の I から III までのうちの一つ、この幕府と経済とのかかわりについて述べた文が下の a から c までのうちの一つある。それぞれを正しく組み合わせたものを、下の A から C までのの中から一つ選び、その記号を書け。



- a 酒屋や土倉が金融業を営んで富を蓄え、幕府はそこから税を取り立てた。
- b 商工業者が大都市などで株仲間と呼ばれる団体をつくり、幕府や藩に承認された。
- c 借金や分割相続で苦しむ御家人を救済するため、幕府は永仁の徳政令を出した。

- A I と a      I I と c      U II と a  
 E II と b      O III と b      K III と c

6 (問1)から(問4)までの各問いに答えよ。

(問1) 明治の初期に岩倉使節団が欧米を訪れた。次の国名のaからeまでは使節団が公式訪問した12か国の中から5か国を選び出したものである。地図中の①から⑤までは、この5か国の当時の首都の位置を示したものである。説明文XとYは、この5か国の中から2か国について、使節団が訪問する前の状況を説明したものである。国名・首都の位置・説明文の正しい組み合わせをアからコまでの中から一つ選び、その記号を書け。

<p><b>国名</b></p> <p>a イギリス b フランス c ドイツ d ロシア e アメリカ</p> <p>※国名は必ずしも当時の正式国名でない。</p> <p><b>説明文</b></p> <p>X 岩倉使節団が訪れる30年ほど前に、この国は、アヘン貿易を厳しく取り締まった清に対し、艦隊を派遣して屈伏させ、香港を手に入れただけでなく、上海などを開港させた。</p> <p>Y 岩倉使節団が訪れる20年ほど前に、この国の東インド艦隊が浦賀に来航し、鎖国をしていた日本に開国を要求した。</p>	<p><b>地図</b></p> <p>※矢印は岩倉使節団の行程を示す。</p>
---	--

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
国名	a	a	b	b	c	c	d	d	e	e
首都の位置	②	③	①	②	④	⑤	⑤	③	①	④
説明文	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y

(問2) 岩倉使節団が欧米を訪問したころの世界の状況に当てはまらないものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア このころ、東アジアでは日本と清が日清修好条規を結んだが、鎖国を続ける朝鮮に対して武力で開国をせよの主張が日本で高まった。
- イ このころ、スエズ運河が開通して帆船に替わって蒸気船が国際的な交通手段となり、欧米とアジアとの人や商品の移動、情報の伝達がいっそう活発になった。
- ウ このころ、フランスとの戦争に勝ったプロイセン王がドイツ皇帝に即位してドイツが統一され、ドイツの発言力が強まっていた。
- エ このころ、ロシアではレーニンが指導する革命が起き、世界で初めての社会主義政権が誕生した。

A 第一次世界大戦は、日本にも大きな影響をもたらした。大戦後の1920年には、国際連盟が結成され、日本は、イギリス、①、イタリアとともに、結成時から常任理事国となった。また、この時期の日本の経済や産業は、主な戦場となったヨーロッパ諸国の動向に影響を受けながら、大きく変化した。

一方、「大正デモクラシー」と呼ばれるように、人々の政治意識が高まったのもこの時期で、1925年には、25歳以上の男子に普通選挙権が認められた。ただし、同じ年に、②が制定されるなど、「大正デモクラシー」には限界もあったと言える。

(問3) Aの文章中の①と②に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア ①—アメリカ ②—治安維持法      イ ①—アメリカ ②—国家総動員法  
ウ ①—ドイツ ②—治安維持法      エ ①—ドイツ ②—国家総動員法  
オ ①—フランス ②—治安維持法      カ ①—フランス ②—国家総動員法

(問4) Aの文章中の下線部に関して、次の表のaからdまでの各項目は、それぞれ機械器具工業、繊維工業、食料品工業、金属工業のいずれかの生産額の推移を示している。また、下のi)からiv)までは、それぞれ表中のいずれかの項目を説明したものである。表中のaとcの項目を正しく組み合わせたものを、後のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

表 工業分野における生産額の推移 (単位：千円)

	a	b	c	d	合計
1914年	620260	47964	110906	219939	1371608
1919年	3295900	338248	716241	740673	6737632
1921年	2336906	250099	568322	872627	5498515
1925年	3215299	421350	458569	1097104	7033125

※『大正十四年工場統計表』より作成。合計はaからdまでの項目以外のものを含む。なお、1914年から1919年までの間に生産額が急伸しているのは、生産量の増加に加えて通貨制度が変更されたため。

- i) 機械器具工業は、大戦中に輸入が途絶えたことで急成長したが、ヨーロッパ諸国からの輸入再開後は低迷した。そのため、1925年の生産額は1919年の3分の2に満たなかった。
- ii) 繊維工業は、大戦中にアジアへの輸出を中心に急成長したが、大戦後はイギリスなどとの厳しい競争に直面した。しかし、依然として日本の工業の主力であった。
- iii) 食料品工業は、国内市場が需要の中心であり、輸入品の影響も比較的小さかった。そのため、1919年から1925年までの時期には一貫して生産額を伸ばしている。
- iv) 金属工業は、大戦後は生産が大きく落ち込んだ。しかし、重工業化に伴う鉄鋼需要の増加や生産の合理化により、1925年には1919年の水準を超えた。

- ア a—食料品工業      c—繊維工業      イ a—食料品工業      c—機械器具工業  
ウ a—繊維工業      c—金属工業      エ a—繊維工業      c—機械器具工業  
オ a—機械器具工業      c—金属工業      カ a—金属工業      c—食料品工業

7 次の文章を読み、(問1)から(問3)までの各問いに答えよ。

日本国憲法に定められている「国民主権」は、民主的な政治を行うための重要な原則である。日本では、現代の多くの国と同じように、代表者としての議員を選挙する議会制民主主義の仕組みを採用している。<sup>(1)</sup>

国政においては、国会は「国権の最高機関」であり、「唯一の立法機関」として定められている。また、衆議院と参議院の二院制を採用しているが、国民の意思をより反映しやすいことから、衆議院により強い権限が認められている。<sup>(2)</sup>

また、地方自治においては、地方議会が住民の意思を反映させて、予算や条例などの審議・議決を行っている。しかし、近年では財政の悪化が深刻な地方公共団体も多く、その対策に頭を悩ませているところも多い。<sup>(3)</sup>

(問1) 下線部(1)に関して、現在の日本の選挙制度として正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

ア 国会議員の選挙の場合、衆議院議員に立候補できるのは満20歳以上、参議院議員に立候補できるのは満30歳以上である。

イ 地方公共団体の選挙の場合、その地方公共団体の満25歳以上の住民が、地方議会の議員に立候補することができる。

ウ 衆議院議員の選挙では、小選挙区制と比例代表制が並立して採用されているが、参議院議員の選挙では、中選挙区制のみが採用されている。

エ 地方公共団体の議会の場合、都道府県議会の議員のみが選挙され、市町村議会の議員は都道府県知事が選ぶことになっている。

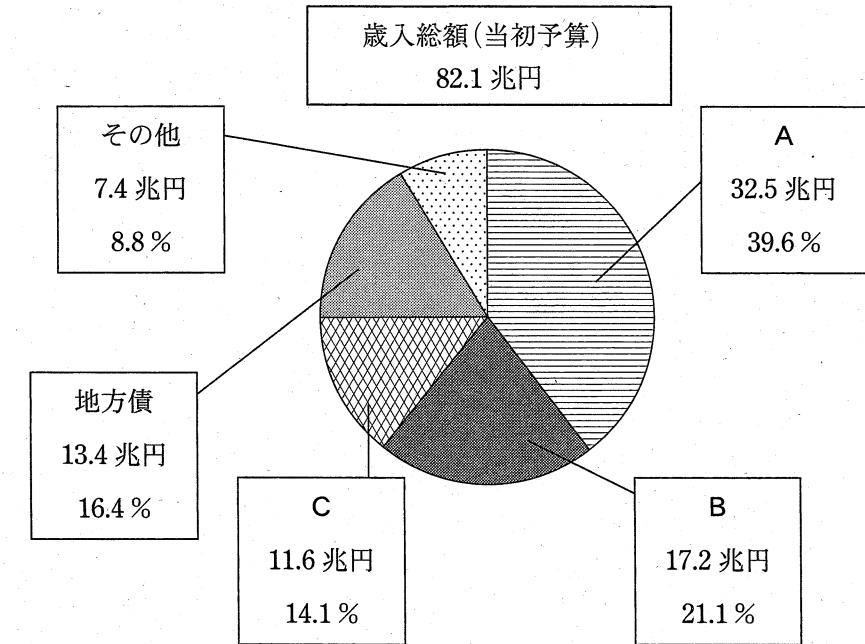
(問2) 下線部(2)に関して、次の①から⑤までの中から、日本国憲法において衆議院により強い権限が認められているものをすべて選んだものを、下のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ① 衆議院と参議院で、予算の議決が異なったとき。
- ② 衆議院と参議院で、国政調査権の行使について意見が異なったとき。
- ③ 衆議院と参議院で、内閣総理大臣の指名が異なったとき。
- ④ 衆議院と参議院で、法律案の議決が異なったとき。
- ⑤ 衆議院と参議院で、憲法改正の発議の議決が異なったとき。

- ア ①と③                      イ ②と④                      ウ ③と⑤  
 エ ①と②と⑤                オ ①と③と④                カ ②と④と⑤

(問3) 下線部(3)に関して、花子さんは、平成22年度の全国の地方公共団体の歳入状況について調べ、図と説明文のようにまとめた。この図の中のAからCまでの項目の組み合わせとして正しいものを、説明文を参考にして、下のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

図 平成22年度 全国の地方公共団体の歳入状況



(総務省「平成22年度地方財政計画関係資料」より作成)

説明文

Aの項目は、地方公共団体はその地域の住民などから徴収するものである。しかし、世界的な不況の影響もあり、平成20年度以降、総額・割合ともに減少している。

Bの項目は、地方公共団体の間にある自主財源の格差を調整するために国から配分されるもので、昨年度に比べて配分されることになった地方公共団体の数が増加した。

Cの項目は、国が地方公共団体と仕事を分担したり、地方公共団体に仕事を委託したりするときに、国が負担する費用である。

地方分権が進められているが、BやC、あるいは地方債といった依存財源に頼らなければならない地方公共団体も多い。

- |   |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|
| ア | A—地方交付税 | B—地方税   | C—国庫支出金 |
| イ | A—地方交付税 | B—国庫支出金 | C—地方税   |
| ウ | A—地方税   | B—地方交付税 | C—国庫支出金 |
| エ | A—地方税   | B—国庫支出金 | C—地方交付税 |
| オ | A—国庫支出金 | B—地方税   | C—地方交付税 |
| カ | A—国庫支出金 | B—地方交付税 | C—地方税   |

8 次のAからDまでの文章は、太郎君が世代の異なる4人に働き始めたころの経済のようすについて話してもらったものである。この文章を読み、(問1)から(問4)までの各問いに答えよ。

A 自分が働き始めたころは、大学を出ても就職先がないなんて言われていたよ。石油危機をきっかけに「狂乱物価」が生じ、企業の生産や人々の消費を抑える政策がとられたんだ。その結果、戦後初めて経済成長もマイナスとなり、企業の新規採用も減ってしまったんだ。

B 私が働きだしたころは、中学校を卒業した後、すぐに就職する人も多かったのよ。都会にあこがれ、若者は地方から大都市に移動していったね。電気洗濯機など「三種の神器」が家庭に普及したのもこのころだけど、急激な開発や公害が問題になった場所もあったわ。

C 私が就職したころは、多様な働き方が広がって、派遣社員やパートタイマーなど正社員以外の人たちの割合が増えたかな。世間では改革が叫ばれ、雇用でも規制緩和が進んだ結果ですね。働き方が自由になる一方で、労働者間の賃金の差も問題になっていたわ。

D 僕が就職したころは、企業からの求人<sup>(1)</sup>は多かったな。株式や土地の投資に業務を広げた企業も多かったからね。金余りを背景に資金が土地や株式の売買に流れ、地価や株価が本来の価値以上に上昇した<sup>(2)</sup>ので、転売で利益を得る「財テク」がブームになっていたよ。

(問1) AからDまでの時期を古い順に並べ替えたとき、正しいものを次のアからカまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア A→B→D→C    イ A→D→B→C    ウ B→A→D→C  
 エ B→D→A→C    オ D→A→B→C    カ D→B→A→C

(問2) 下線部(1)に関して、次のアからエまではいわゆる四大公害についてその被害地域や主な原因、症状の例の三つの項目を示したものである。これらの項目が正しく組み合わせられたものを一つ選び、その記号を書け。

ア (被害地域) 富山県神通川流域 (主な原因) カドミウムによる水質汚濁 (症状の例) 多発性の病的骨折	イ (被害地域) 三重県四日市市 (主な原因) 有機水銀による水質汚濁 (症状の例) 神経性の知覚・運動障害
ウ (被害地域) 新潟県阿賀野川流域 (主な原因) アスベストによる土壌汚染 (症状の例) 神経性の知覚・運動障害	エ (被害地域) 熊本県・鹿児島県水俣湾周辺 (主な原因) 亜硫酸ガスによる大気汚染 (症状の例) 気管支ぜんそく

(問3) 下線部(2)に関して、次ページの表1と表2は男女ごとに企業規模・雇用形態・学歴および年齢階級別の賃金(残業代を含まない1か月の所定内賃金)を示したものである。たとえば表1中★の区分は、「従業員1000人以上の企業に勤める高校卒25～29歳の男性正社員」の賃金を表している。二つの表から読み取ることができる内容として正しいものを、後のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

表1 企業規模・雇用形態・学歴および年齢階級別賃金 男性 (単位:千円)

	企業規模	1000人以上		100～999人		10～99人	
		正社員	正社員以外	正社員	正社員以外	正社員	正社員以外
高校卒	25～29歳	★241.3	197.9	226.6	188.1	229.8	195.5
	40～44歳	375.8	220.8	321.6	225.7	308.5	231.2
	55～59歳	436.3	228.5	366.8	226.1	323.6	215.3
大学卒	25～29歳	270.0	230.8	262.1	222.6	243.8	189.0
	40～44歳	511.0	363.7	442.3	293.0	394.0	280.5
	55～59歳	598.2	333.6	534.8	337.6	454.2	278.7

表2 企業規模・雇用形態・学歴および年齢階級別賃金 女性 (単位:千円)

	企業規模	1000人以上		100～999人		10～99人	
		正社員	正社員以外	正社員	正社員以外	正社員	正社員以外
高校卒	25～29歳	209.4	174.8	198.6	161.4	189.5	165.4
	40～44歳	269.7	171.4	235.5	156.2	210.9	147.2
	55～59歳	298.6	168.5	230.7	155.0	215.8	147.4
大学卒	25～29歳	245.5	210.4	236.0	201.5	226.6	192.1
	40～44歳	424.1	213.4	392.6	216.2	328.4	194.1
	55～59歳	475.8	224.6	448.9	245.3	374.4	172.6

※一般労働者の平均賃金。大学卒には大学院卒も含まれる。(厚生労働省『平成20年度賃金構造基本統計調査』より作成)

- ア 男性の賃金を学歴の点で比較した場合、同じ企業規模・雇用形態および年齢階級であるならば、いずれの区分においても大学卒の方が高校卒よりも賃金が高い。
- イ 女性の賃金を企業規模の点で比較した場合、同じ雇用形態・学歴および年齢階級であるならば、いずれの区分においても企業規模が大きいほど賃金が高い。
- ウ 正社員の賃金を年齢階級の点で比較した場合、同じ企業規模・雇用形態および学歴であるならば、男性・女性を問わず、いずれの区分においても年齢が高いほど賃金が高い。
- エ 雇用形態による賃金を比較した場合、同じ企業規模・学歴および年齢階級であるならば、男性・女性を問わず、いずれの区分においても正社員の方が正社員以外よりも賃金が高い。

(問4) 下線部(3)に至った要因を流れて示すと、右のようになる。①と②に入る言葉を正しく組み合わせたものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア ①一円高 ②一輸入  
 イ ①一円高 ②一輸出  
 ウ ①一円安 ②一輸入  
 エ ①一円安 ②一輸出

